

# 第7回 スキルチャンピオンシップ 実施要項

## 1. 目的

第7回スキルチャンピオンシップは、スカウトスキルを用いた競技大会を企画・実施することにより、各隊での技能訓練を促進し、スカウトスキルの底上げを図ることを目的とする。

## 2. 日程

令和3年 9月12日(日) 9時00分～16時00分 (小雨決行)

当日受付： 9時00分～12時00分

競技実施： 9時30分～15時30分

表彰式 : 15時30分～16時00分

※隊指導者の皆様には、競技時間の分散化にご協力いただけますようお願いいたします。

## 3. 会場

ボーイスカウト奈良県連盟 はやまの森 野営場 (旧奈良県野外活動第2センター)

※隊員輸送、資材搬入等の車両については、場内に駐車できません。国道沿いのバス用駐車場を利用してください。

## 4. 参加対象

参加対象は、奈良県連盟に所属するボーイ隊の班単位およびカブ隊の組単位とする。  
(事前申込制)

※BS班の人数は3～8名であること、CS組の人数は3～9名であること

※隊内や他団との合同班、合同組での参加も認める

## 5. 参加に関する費用

スカウトの参加費 一人当たり 200円

※はやまの森利用料を含む

※参加費は、当日の受付で隊員数に応じ、現金で徴収する

## 7. 参加の事前申込み

事前申込期間：令和3年 7月 5日(月)～ 8月27日(金)

事前申込方法：隊長が本実施要領に添付の申込用紙に必要事項を記入し

下記までメール又はFAX すること。

〒632-0016 奈良県天理市川原城町 680 番地 天理ビル 3 階

TEL : 0743-25-3996 FAX : 0743-25-8212

e-mail : office@nara-scout.org

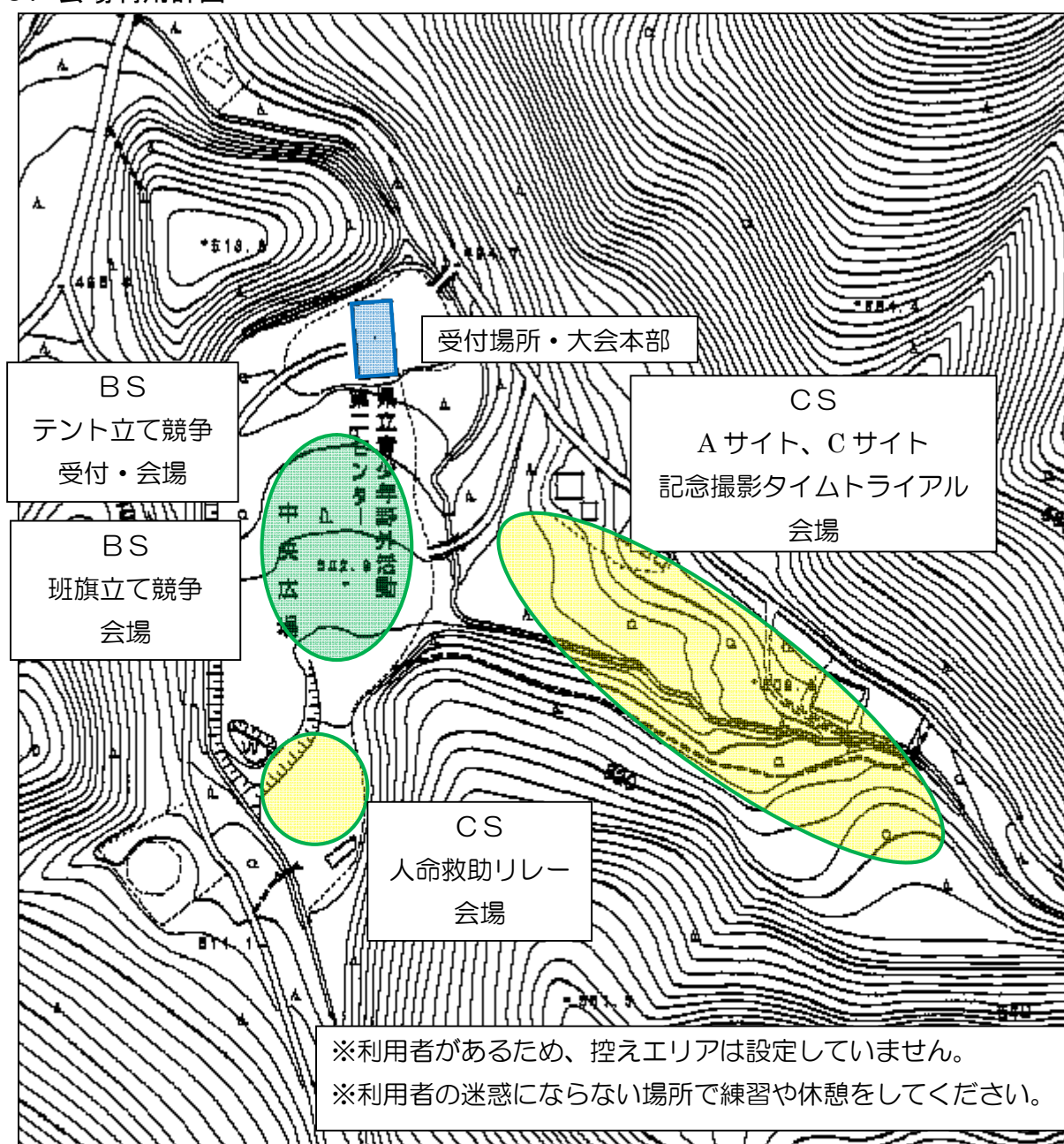
## 8. 表彰について

それぞれの競技について、結果に基づき下記の通り表彰する。

第1位	表彰状、盾、優勝カップ
第2位	表彰状、盾
第3位	表彰状、盾
第4位	表彰状
第5位	表彰状

また、全ての競技結果については10月中旬までに県連のホームページにおいて公開する。

## 9. 会場利用計画



## 10. 安全管理・健康管理

### ○安全管理

参加スカウトは必ず班・組として行動すること。

参加スカウトは隊指導者の指導のもと、班長・次長、組長を中心に安全の三原則を厳守しなければならない。

- 【安全の三原則】
- ・自分の安全は自分で守る
  - ・ルールを守る
  - ・安全を最優先にする

なお、競技参加に際しては、競技担当者の指示に従うこと。

### 11. 競技の審判員について

公平な競技運営を行うため、各競技の審判員については、下記の通り事前勉強会を行うものとする。（審判として奉仕するスタッフは原則として全員参加する）

勉強会日程 令和3年 8月28日（土） 9時00分～12時00分

場所 はやまの森野営場

- 内容
- ・競技の基本ルール
  - ・審判の役割
  - ・失格等の基準
  - ・安全管理

### 12. 隊指導者へのお願い

当日の競技実施に際して、競技担当者や審判から技能指導を行うことはありません。  
また、競技中に隊指導者が手伝う行為については失格にいたします（声かけ指導については認めます）。

各隊指導者の皆様には、隊員を競技に参加させるに当り、必ず事前に技能訓練を実施していただけますようお願いいたします。

また、当日に控えエリアで練習をすることは認めますが、控えエリア内での場所割り等はこちらで行いませんので、各隊で譲り合って使用してください。なお、練習用の競技資材について貸し出しすることはありませんので、練習をする場合は各隊で資材等を持ち込んでいただけるようお願いいたします。

第7回 スキルチャンピオンシップ 参加申込書

奈良県連盟 \_\_\_\_\_ 地区 \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団 \_\_\_\_\_ 隊

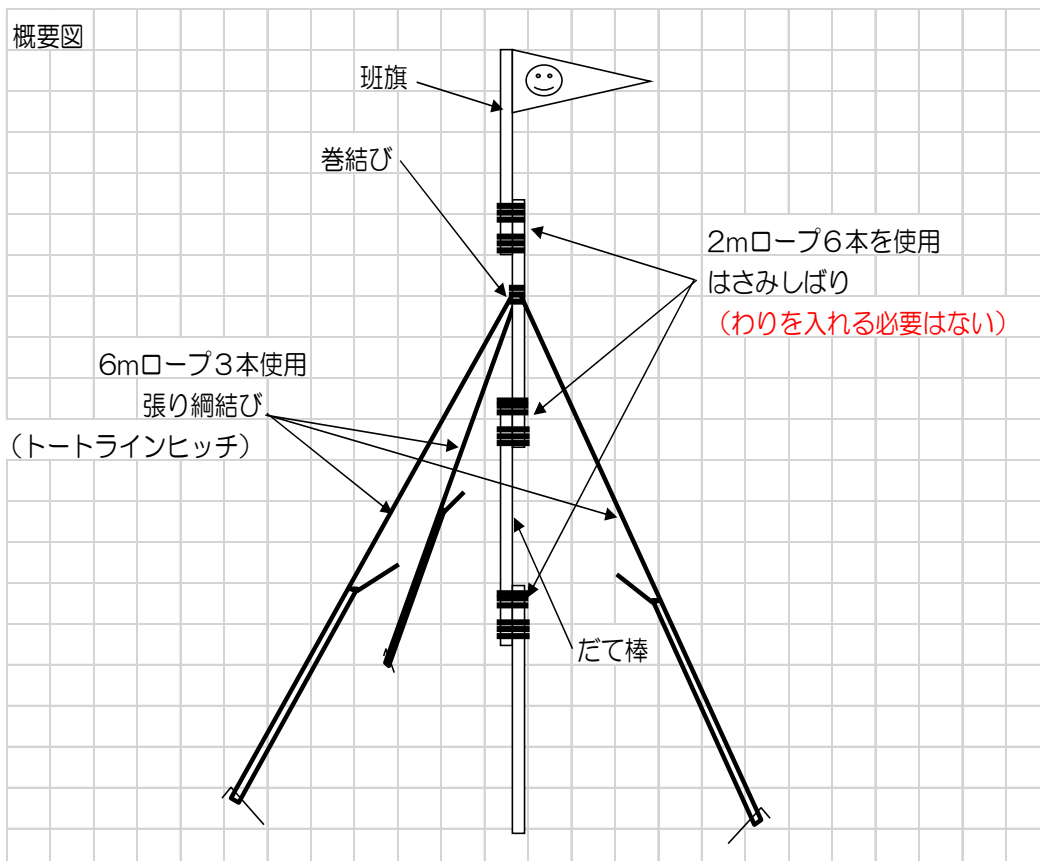
参 加 班		
班 名 又は 組 名	班・組の人数	備考（他団との合同班等）

隊長氏名 : \_\_\_\_\_

## 班旗立て競争

(ルール)

- だて棒3本と班旗を縦につなぎ、ペグを打って張り綱をはることにより立てるまでの時間を競うゲーム。
- 班旗以外の道具は主催者が準備したものを使用する。
- 貸し出す資材は以下の通り。
  - 競技用のだて棒 (1.8m×3本)
  - ロープ (2m×6本、6m×3本)
  - ペグ (3本)
  - ハンマー (1本)
  - ストップウォッチ (審査員用1個)
- 貸与するロープは全て「エビ結び」し、班員全員が整列した状態からスタートする。
- 立て終わり、班員全員が整列した時点で時計を止める。
- 結び方の審査はしないが、原則として、だて棒と班旗をつなぐ縛り方は「はさみ縛り(わりはいれなくてよい)」、だて棒と張り綱の接続は「巻き結び」、張り綱のペグ側は「トートラインヒッチ(張り綱結び)」を使用する。
- 制限時間は15分、制限時間に立てられなかった班は失格。
- 整列して時計を止めた後、班旗が倒れた場合は、ペナルティタイム 30 秒を加算する。
- 1班の編制は、必ず3～8名とする。



## (BS部門) テント立て競争

### (ルール)

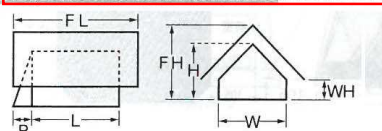
- ・ 県連が貸し出す日本連盟A型テント8人用を規定通りに立てるまでの時間を競う。
- ・ 貸し出される資材は以下のとおり。全ての資材を使用すること。
 

テント本体	1張	グラウンドシート	1枚
テント用ポール(柱)	2本	ハンマー	2本
テント用ポール(梁)	1本	ペグ(鉄)	8本
フライシート	1張	ペグ(プラ)	28本
フライ用ポール	2本	※張綱はテントに付属	
- ・ 競技開始前に、必ず貸出物品の確認を行う。
- ・ 計測する時間は、審判の出すスタートの合図から作業終了後にテント前に整列するまでの時間とする。(必ず作業開始時、終了時は整列すること)
- ・ テントを立てる手順は審査、指導しない。ただし、作業を継続すると資材が破損する恐れがある場合はその時点で審判が失格を宣告する。
- ・ 作業制限時間は20分。作業制限時間内に立てられなかった班は失格となる。
- ・ 作業が終了し時計を止めた後、審判の点検を受ける。
- ・ 審判の点検により、不備があった場合は、項目に応じたペナルティを加算する。  
(点検項目およびペナルティの値は点検表参照)
- ・ ペナルティを加算することで20分を超えた場合の記録は失格としない。
- ・ 点検が終了し記録が確定した班から、すみやかにテントを撤収し元の状態に戻す。
- ・ 1班の編成は、必ず3～8名とする。
- ・ 1班につき1回のみチャレンジできる。



A型テント 仕様 / A-Tent Prices and Specifications

品名/Product Name	サイズ/Size(cm)							重量/Weight (カヤ含む/including mosquito net door)	ポール/Poles		ペグ/Pegs		ピン/Pins		金槌 Hammer
	H	L	W	WH	R	FH	FL		シヨラ(柱) Posts	リダ(梁) Ridges	400	270	200	370	
A型テント8人用/A-Tent 8 Berth	182	273	227	45	90	182	454	25.1kg	(182) 4	(273) 1	8	28	20	12	2



※ピンペグ、シートピンは競技では使用しない

# テント立て競争 記録表 (記入例)

スキルチャンピオンシップ

ならぼんち 地区 やたがらす 第 1 団 ボーイスカウト隊

いのしし 班 6 名

不使用の個数を記入し  
1個につきペナルティ20秒

テントを立てた時間			11 分 25 秒
点 検 結 果	全ての資材が使用されているか？ (不使用の個数に対してペナルティ加算)	4 個	1 分 20 秒
	支柱、リッジポール (はり) が正しく接続されているか？	○	秒
	支柱が本体の所定の位置 (差込穴) に接続されているか？	○	秒
	支柱がフライの所定の位置 (差込穴) に接続されているか？	×	20 秒
	テントの入り口のチャックが下まで閉まっているか？	○	秒
	グランドシートの所定の位置に支柱が置かれているか？	○	複数箇所の不備があっても、 1項目につきペナルティ20秒
	全てのペグに張り綱がかかっているか？	×	
点検結果を考慮した記録			13 分 25 秒

※ 点検項目1項目につき、20秒が加算される。(資材の不使用のみ個数×20秒)

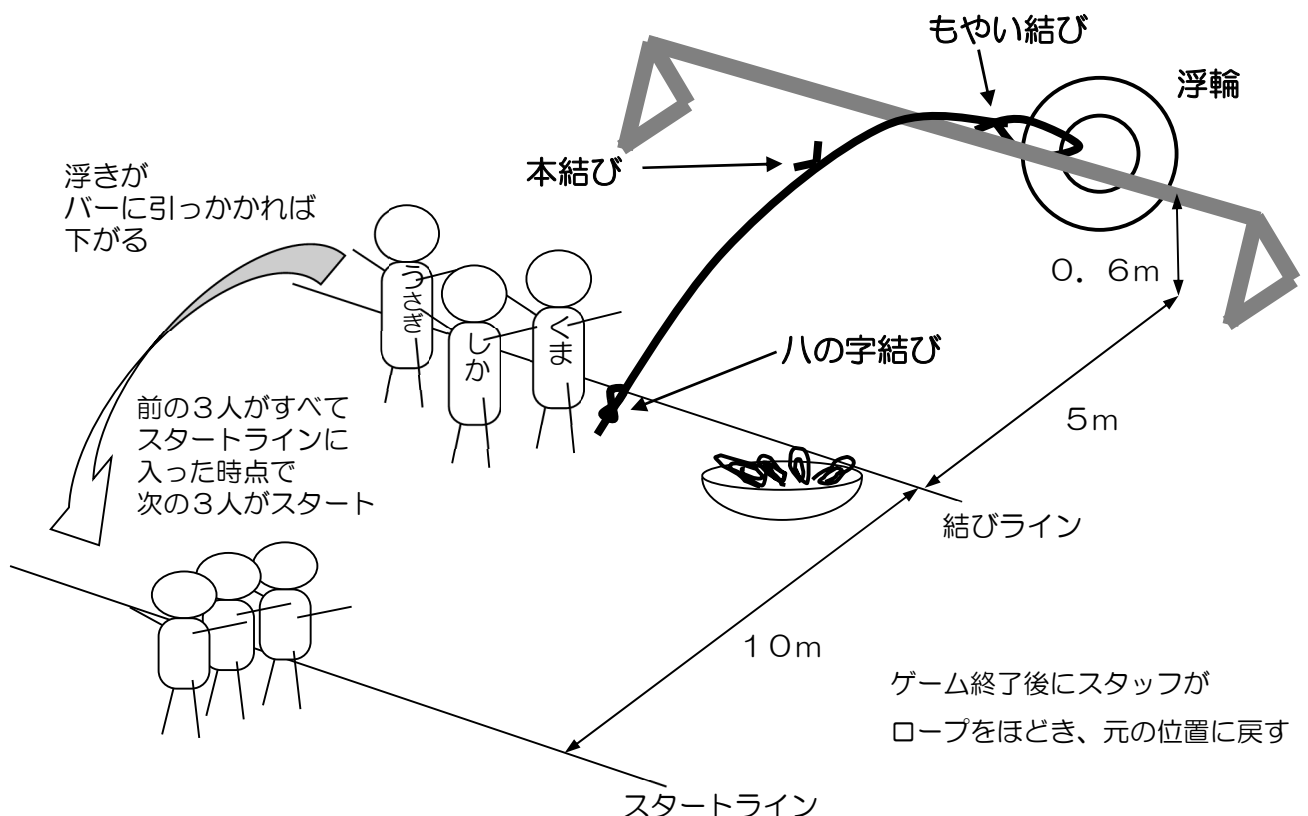
点検・記録担当者名を  
必ず記入

点検・記録担当者： やまと たける

## (CS部門) 人命救助リレー

### (ルール)

- この競技は、救助用の浮きを作成し、前方のバーに届くように投げて帰ってくることを3回繰り返すまでの時間を競うものである。
- 浮輪3本と4mロープ6本については、貸し出されたものを使用する。  
浮輪：単車用タイヤチューブ 2.50/2.75-10 TR-4
- 3人一組になってスタートし、結びラインの前で下図のとおり、救助用の浮きを作成する。
- 救助用の浮きができたら、前方のバーまで浮きを投げてひっかける。このとき、手元側の八の字結びを必ず、結びラインの内側に残すこと。
- 八の字結びが結びラインよりも前にでた場合は、八の字結びを引っ張ってラインの内側まで戻す。
- 浮きがバーに引っかからなければ、引き戻して引っかかるまで繰り返し投げる。
- 浮きがバーに引っかかれば、スタートラインまで戻って次の組と交代する。
- これを3回繰り返し、最後の組が全員スタートラインに戻った時には、全員で「かけ声」をかけてゴールとなる。
- 1チームの編成は、3名～9名（最大9名）。チームの全員参加が参加すること。
- 制限時間は15分間。これを超えると失格とする。
- 次の組への交代は、その組の最後の組員がスタートラインに入った時点とし、審判が「フライング」と判断した時は、スタートラインまで戻って再スタートする。
- 1チームにつき、1回のみチャレンジできる。





## (CS部門) 記念撮影タイムトライアル

### (ルール)

- この競技は、エリア内に置かれたマスコット（キャラクター）と記念撮影をして戻ってくるまでの時間を競うタイムトライアルハイキングである。
- 参加する組は、必ず組に1台のデジタルカメラもしくは、カメラ機能付きスマートフォンを携帯して競技にのぞむ。
- 定められたエリア内に配置されたマスコットのうち、定められた送信機に反応するマスコット6体と記念写真を撮影する。
- スタート直前に、記念撮影をとるマスコットを探す送信機を決定する。
- 送信機が決まれば、組員全員でリング付きロープを持ち、審判員の合図でスタートする。（このとき、審判員がスタート時刻を記録する）
- リング付きロープは、ハイキング中、常に組員全員で持つこと。ただし、記念撮影をとる時に限り、カメラマンはリング付きロープを離れることができる。
- リング付きロープを離して移動していることが判明した場合は、その組を失格とする。
- 正しい4体のマスコットと記念撮影を撮り、スタート位置まで戻ったら、審判員に団名と組名を告げて到着時刻を記録してもらう。
- 違うマスコットと記念撮影している場合や、全員が写っていない場合、マスコットが見つけれなかった場合は、ペナルティがかせられる。
- 到着時刻を記録した後で、記念撮影した写真を審判員に見せ、ペナルティの有無を判定する。
- 1組の人数は3名～9名とし、必ず指導者（保護者も可）が1名、組につきそう。ただし、組につきそう指導者もリング付きロープを持つこと。
- カメラマンについては、必ず組に1名を専任する。カメラマンは、隊員、指導者のどちらでもよいが、ハイキング中の交代は認めない。
- 撮影した写真には、マスコットとカメラマン以外の全ての組員が写っていること。
- 制限時間は45分間。到着時間が制限時間を超えると失格とする。（ペナルティタイムにより制限時間を超えた場合はその記録を有効とする）
- 1組につき、1回のみチャレンジできる。

